

付着生物ラーバ情報

ラーバはサンカクフジツボが減少、ユウレイボヤが出現

1 ラーバの出現状況

ラーバの調査地点は図1、出現数は表1のとおりです。

(1) サンカクフジツボ

ラーバは見られておりません (表1、図2、3)。

(2) ユウレイボヤ

付着直前のラーバが9月13日に川内沖で0.8個体/m³見られました (表1、図5)。

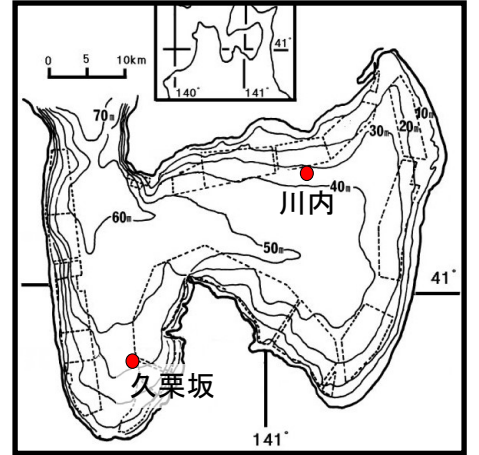


図1 ラーバ調査地点

2 今後の見込み

(1) サンカクフジツボ

付着直前のラーバ (図2) の出現のピークは過ぎましたが、例年では10月まで出現しているので、今後も付着する可能性があります (図3)。

殻長1mm未満の小さいサンカクフジツボは稚貝分散時に選別機を用いることで約7割落ちることが分かっています (図4)。

(2) ユウレイボヤ

現在、陸奥湾内の中層の水温は23℃前後となっています。ユウレイボヤは水温20℃以下で産卵するので、10月以降に本格的なラーバの出現と付着が始まるものと思われます。

表1 ラーバ等の出現状況

調査地点	調査月日	サンカクフジツボ	ユウレイボヤ
久栗坂沖	R4.9.13	0.0	0.0
川内沖	R4.9.13	0.0	0.8

※久栗坂・川内沖は実験漁場内

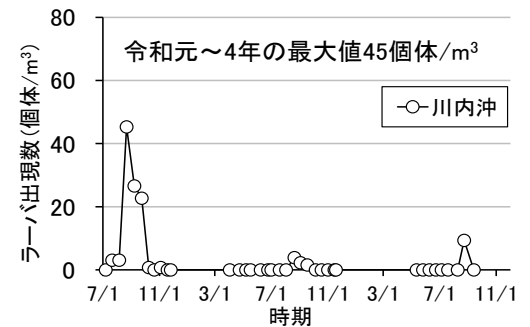
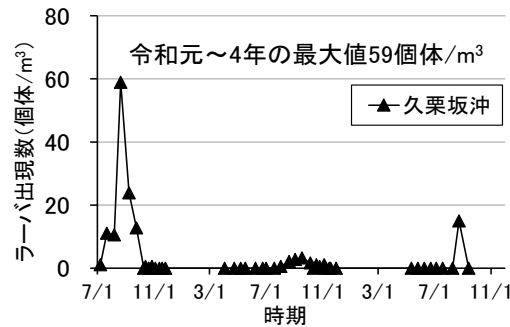


図3 サンカクフジツボラーバ出現数の推移 (令和2年7月~令和4年9月)

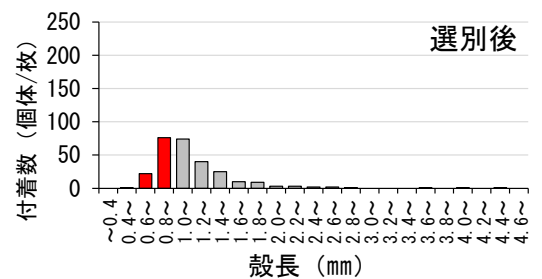
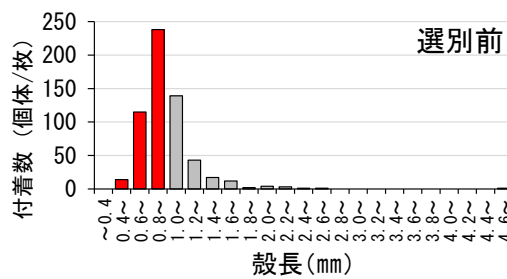


図4 令和2年9月の久栗坂沖における選別前後の稚貝1枚に付着したサンカクフジツボの付着数 (左は選別前、右は選別後)



図2 付着直前のサンカクフジツボラーバ(キプリス幼生)

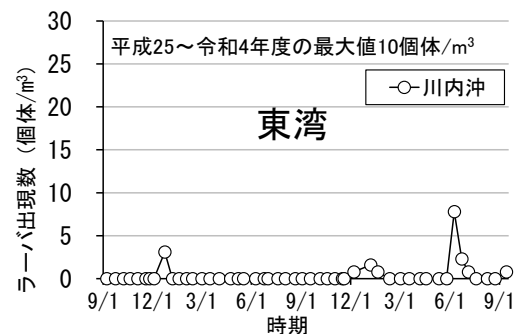
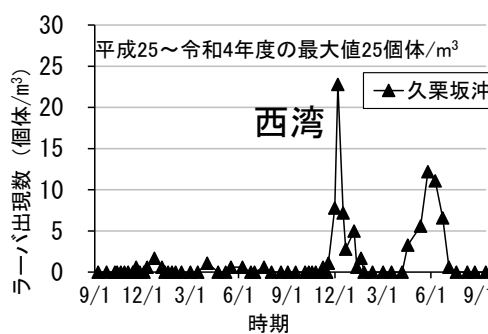


図5 ユウレイボヤラーバ出現数の推移 (令和2年9月~令和4年9月)

